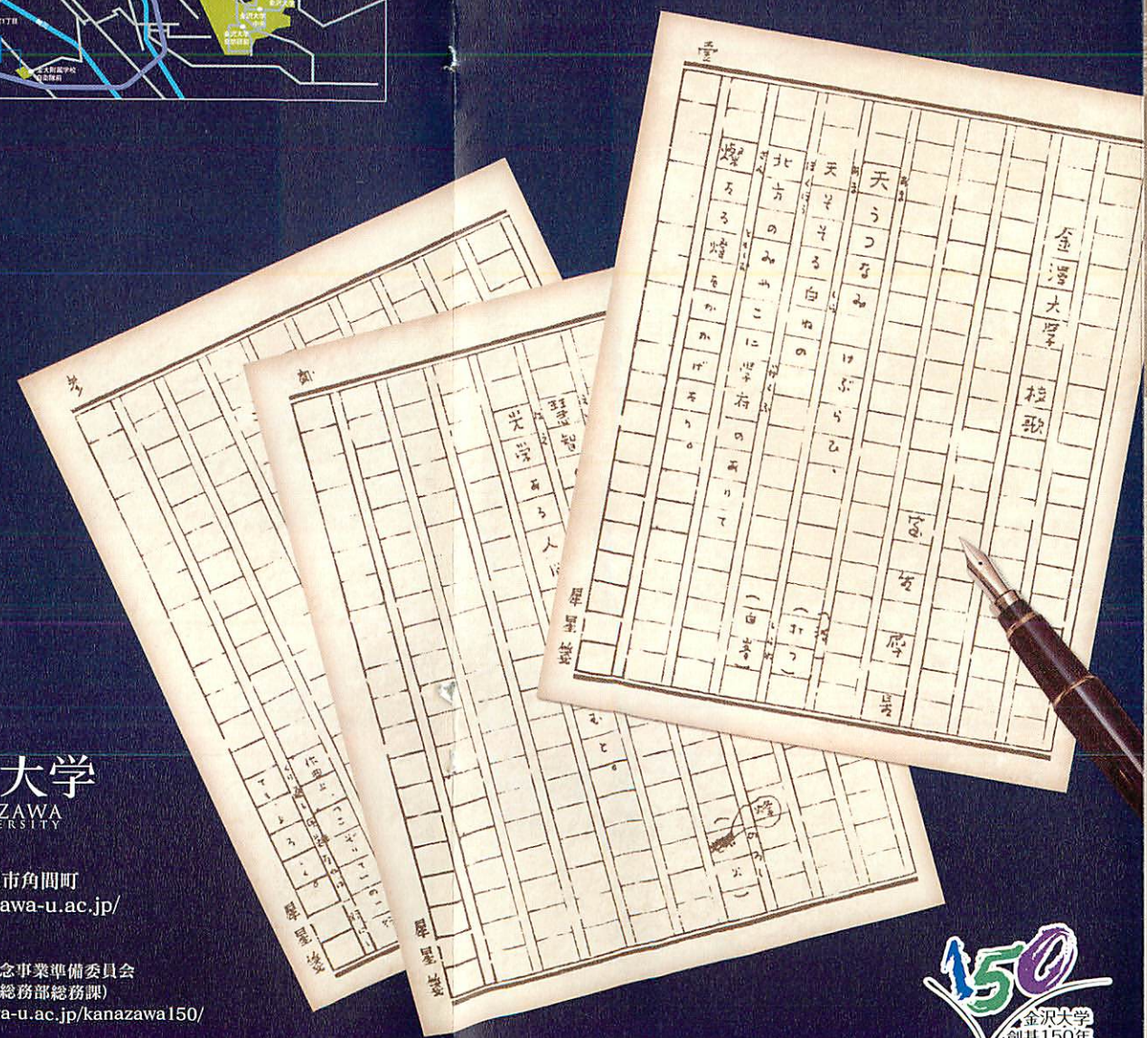
市金沢は、つねに新しい文化の創造
ました。これまでの150年とこれからの
い視野のもとで、国境や民族の違いを
に向けて情報を発信し、世界の平和と
な発展に資することを、金沢大学は

金沢大学創基150年

The 150th Foundation Anniversary of Kanazawa University



金沢大学校歌（室生犀星自筆）

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

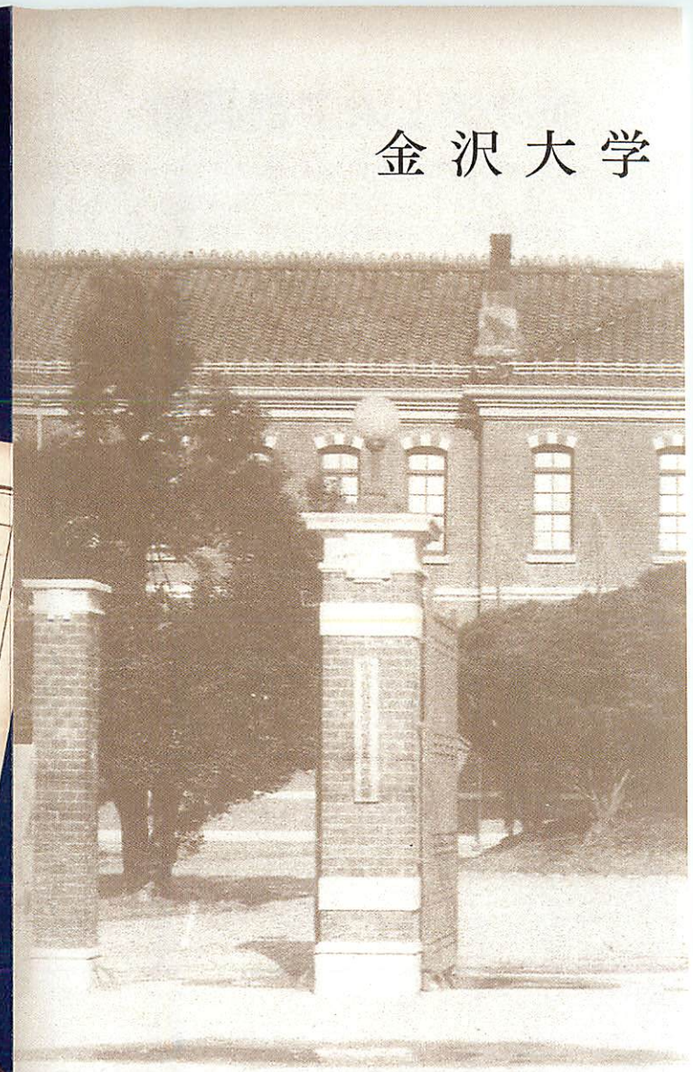
〒920-1192 金沢市角間町
http://www.kanazawa-u.ac.jp/

連絡先
金沢大学創基150年記念事業準備委員会
Tel.076-264-5111（総務部総務課）
http://www.kanazawa-u.ac.jp/kanazawa150/

2011.01.15000

150 金沢大学 創基150年

金沢大学



古き濫觴（らんしょう）を尋ねて、真理の水源にいたり、滴また創造の大海をめざす

2012年（平成24年）、金沢大学は、その源流（濫觴）となる加賀藩種痘所の設立（文久2年）から数えて、150年にわたる大きな流れをこの地に刻みます。この間、金沢大学は、創建当時の先端医療に果敢に取り組ん

前身校と大学創設期

金沢大学の起源は文久2(1862)年の加賀藩種痘所まで遡ることが出来ます。
その後、明治期には金沢医学校、石川師範学校、第四高等学校、大正に入り金沢医科大学、金沢高等工業学校が設立され、
これら前身校の幾多の変遷を経て、昭和24(1949)年に様々な学校の歴史と伝統を引き継ぎ、新制金沢大学として発足しました。

文久

文久2　1862　加賀藩、金沢彦三八番丁に種痘所(反求舎)をつくる

慶応

慶応3　1867　加賀藩、卯辰山養生所(病院部門)を建設　これに医学館、薬圃を附属する

明治

明治3　1870　卯辰山養生所は貧病院となり貧困患者の治療を行う
金沢大手町旧津田玄蕃邸(加賀藩家老)に金沢医学館と病院が開設

明治7　1874　石川県は小学校教員養成のため兼六園成巽閣石川県英学校内に集成学校を設置

明治7　1874　集成学校を仙石町に移転　ついで石川県師範学校に改称

明治8　1875　石川県は幼児教育者養成のため松原町女児小学校内に石川県女子師範学校を設置

明治8　1875　石川県女子師範学校を仙石町に移し、石川県師範学校と校舎を統合

明治9　1876　金沢仙石町に公立の中学師範学校を設置し、校名を啓明学校とする

明治10　1877　ついで石川県第一師範学校・同女子師範学校に改称
石川県師範学校・同女子師範学校を広坂に移転

明治10　1877　啓明学校を石川県中学師範学校に改称

明治12　1879　金沢医学所を金沢医学校に改称

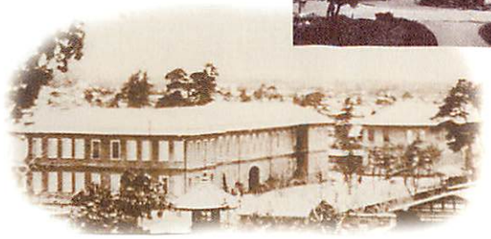
明治13　1880　同女子師範学校を石川県金沢女子師範学校に改称
石川県第一師範学校を石川県金沢小学師範学校に改称

明治14　1881　中学師範学校を石川県専門学校に改称

明治16　1883　石川県師範学校(男子部・女子部)に改称
石川県金沢小学師範学校と同女子師範学校を合併

明治17　1884　金沢医学校が石川県甲種医学校に昇格

明治19　1886　石川県師範学校を石川県尋常師範学校に改称



成

平成18　2006　大学院人間社会環境研究科の設置

平成20　2008　3学域・16学類スタート

平成21　2009　大学院教育学研究科(教育実践高度化専攻)の設置

人間社会学域	国際学類 地域創造学類 学校教育学類 経済学類 法学類 人文学類
理工学域	自然システム学類 環境デザイン学類 電子情報学類 機械工学類 物質化学類 数物科学類
医薬保健学域	保健学類 創薬科学類 薬学類 医学類

移転、3学域・16学類へ

もに手狭になった金沢大学は、医学部・附属病院を除き、自然豊かな角間地区に総合移転し、
将来の発展を見据え、3学域・16学類により新しい大学に生まれ変わりました。

明治

- 明治27（1894）　第四高等中学校を第四高等学校に改称
- 明治22（1889）　第四高等中学校医学部に薬学科を付設
- 明治20（1887）　石川県甲種医学校は第四高等中学校の医学部に継承され、翌年廃止
- 明治20（1887）　金沢に第四高等中学校設置　石川県専門学校は第四高等中学校に継承され、翌年廃止

大正

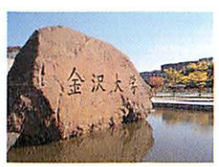
- 大正12（1923）　附属医学専門部及び附属薬学専門部を設置
- 大正9（1920）　金沢高等工業学校設置
- 明治41（1908）　石川県師範学校から女子師範学校が分立し、石川県女子師範学校となる
- 明治34（1901）　四高医学部が独立し、金沢医学専門学校として新設
- 明治31（1898）　石川県尋常師範学校を石川県師範学校に改称

昭和

- 昭和22（1947）　金沢城跡の敷地が、北陸総合大学建設地に確定
- 昭和22（1947）　北陸総合大学設立準備委員会の設置
- 昭和21（1946）　教育基本法・学校教育法の公布に伴い、北陸総合大学期成同盟会を解消
- 昭和21（1946）　北陸総合大学設置期成同盟会が発足

平成

- 平成17（2005）　医学部附属病院新中央診療棟完成・移転
- 平成16（2004）　金沢大学総合移転（第Ⅱ期）の実施開始（平成16年薬学部、平成17年工学部移転）
- 平成16（2004）　21世紀COEプログラム「発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成」採択
- 平成16（2004）　サンタ・クローチェ教会（イタリア）の壁画修復・研究調査に関する協定書締結
- 平成16（2004）　国立大学法人金沢大学設立、法務研究科（法科大学院）の設置
- 平成14（2002）　薬学部の2学科を総合薬学科に改組
- 平成14（2002）　医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）の設置
- 平成14（2002）　21世紀COEプログラム「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」採択
- 平成13（2001）　医学部附属病院新病棟完成・移転
- 平成12（2000）　大学院医学系研究科保健学専攻（修）の設置
- 平成12（2000）　大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
- 平成12（2000）　「金沢大学サテライト・プラザ」開設
- 平成10（1998）　金沢大学総合移転（第Ⅱ期）整備工事起工式
- 平成8（1996）　教養部の廃止　教養教育機構（現・共通教育機構）の設置
- 平成7（1995）　医学部保健学科の設置
- 平成6（1994）　本部棟（事務局・学生部、保健管理センター）が完成（平成7年移転）
- 平成5（1993）　教養部棟（現・総合教育棟）が完成・移転
- 平成5（1993）　大学院社会環境科学研究科（博）の設置
- 平成4（1992）　理学部棟及び教育学部棟が完成・移転



150年の歩み

第四高等学校

だ高い倫理性と大胆な挑戦を常に忘れることなく、＜先魁＞としての人材養成、他なる生命・存在との＜共存＞、革新的な知の＜創造＞を力強く進めてきました。いま私たちは、創基150年を期に、これまでの歩みを継承しつつ、今後150年先の開かれた世界における金沢大学のあるべき姿を描きたいと考えています。

金沢大学の誕生と発展

金沢大学は、戦後の教育改革により昭和24(1949)年5月に発足しました。
本部を金沢城内に置き、「お城の大学」として有名になるとともに、
学部や大学院の改組・拡充を経て、総合大学として成長を遂げました。

昭和

昭和24	1949	法文・教育・理・医・薬・工学部の6学部国立学校設置法(法律第150号)の公布により、金沢大学の設置
昭和30	1955	大学院医学研究科の設置
昭和38	1963	大学院理学研究科の設置
昭和39	1964	大学院薬学研究科の設置
昭和40	1965	大学院工学研究科の設置
昭和42	1967	医学部がん研究施設と結核研究所を統合し、がん研究所を設置
昭和46	1971	大学院法学研究科の設置
昭和47	1972	大学院文学研究科の設置　医療技術短期大学部の設置
昭和53	1978	評議会で総合移転(200ha構想)の方針を決定
昭和55	1980	法文学部の改組　文・法・経済学部の設置
昭和55	1980	臨時評議会で、総合移転地を「角間地区」に決定
昭和57	1982	大学院教育学研究科の設置
昭和59	1984	大学院経済学研究科の設置
昭和59	1984	「総合移転整備事業建設工事起工式」を挙行、造成工事(調整池)の着工
昭和60	1985	大学院薬学研究科生命科学専攻(博)の設置
昭和62	1987	大学院自然科学研究科(博)の設置

金沢大学憲章は「地域と世界に開
の研究大学」を掲げています。現代社
課題に立ち向かい、それを解決する
と人材育成こそが金沢大学の使命と
です。2008年にスタートした3学域・1
い教育体制は、それに向けた第一歩